Expand - Collapse

- □ DAX40-01 図書館情報学研究(図書館システム・オープンデータ) 【ゼミ資料xmind】
 - 田 改版履歴
 - ① DAX40-01 はじめに(目次)
 - **□ ② ₹−₹**
 - 一電子図書館の過去から未来に向かう流れ一
 - - 「未来の図書館を作るとは」の実現に向けて-
 - □ ② ゼミでの目標
 - ・次世代の図書館サービスのイメージを想像する
 - ・効率的・効果的なサービスシステムを構築するためには何をすべきかを認識する
 - ・そのために必要なスキルと知識の習得を効率的に行うにはどうすればいいかを認識する

 - ② DAX40-02 電子図書館サービスの始動
 - ⊞ ③ 「知の共有化」とは
 - ③ コミュニケーションの保存を振り返る
 - ③ インターネット文化でのデジタル化の意義
 - 3 日本における大規模デジタル化の端緒
 - 田 3 電子図書館サービス20年の歩み
 - 田 ③ 電子図書館構想の策定及び実施に向けた検討
 - 田 ③ 電子図書館構想に基づいた当初の取り組み

1

- ② DAX40-03 電子図書館サービスから知識インフラの構築へ
 - 🗉 🗿 1990年前半に策定された電子図書館関連の構想
 - 3 1990年代中旬に我が国で最初の実用化実証システム
 - ⊞ ③ 政府の動きとの関係
 - ⊞ ③ 国立国会電子図書館中期計画2004
 - 田 3 電子図書館のサービス

1

- □ ② DAX40-04 ICTの急速な発展と図書館を取り巻くサービスの変革
 - ③ クラウドコンピューティングの世界でのサービス連携【2007年想定】
 - 田 3 国の施策

③ 【参考】

Expand - Collapse

団 ③ サービスの変革の時代と次世代図書館サービスは?

1

- □ ② DAX40-05 「知の共有化」の実現を目指した構想(知識インフラ構想の実現イメージ)
 - ③ 「知の共有化」とは
 - ③ 「未来の図書館を作るとは」
 - 団 ③ アーカイブに関連した国の活動の方向性
 - ③ ナショナルアーカイブ関連の国の動き【2013~2014年】
 - ⊞ ③ 書籍のナショナルアーカイブ構想
 - 立化情報資源のナショナルアーカイブ構想
 - ③ 「デジタルアーカイブジャパン」として実現に向けて

1

- ② DAX40-06 次世代システムの構築・運用タスクと、タスクの遂行に必要なスキル・知識
 - 3 DAX40-06-1 「知の共有化」システムの標準的な構築プロセス
 - 3 DAX40-06-2 政府情報システムでの標準的な構築プロセス
 - 3 DAX40-06-3 「知の共有化」システムの構築に必要なスキル・知識

1

- □ **①** DAX40-02 電子図書館サービスの始動

 - 田 ② コミュニケーションの保存を振り返る

 - 団 ② 日本における大規模デジタル化の端緒

 - 田 ② 電子図書館構想の策定及び実施に向けた検討
 - ② 電子図書館構想に基づいた当初の取り組み
- - ・ ② 【参考】20年の歩み
 - ⊞ ② 政府の動きとの関係
 - 🗉 🙋 国立国会図書館電子図書館中期計画2004

 - 団 ② 情報に関する情報の充実

■ ② デジタルアーカイブのポータル機能

Expand - Collapse

- ② デジタルアーカイブポータルのプロトタイプ構築
- PORTAの構築
- ② 【紙とデジタルを合わせた】トータルな次期図書館システムを目指して
- ② 国立国会図書館サーチ(NDLサーチ)
- ⊞ ② 公共的書誌情報基盤
- □ DAX40-04 ICTの急速な発展と図書館を取り巻くサービスの変革
 - 🕀 🙋 背景
 - 団 ② クラウドコンピューティングの世界でのサービスの連携【2007年想定】
 - ② 社会の進展/国等の施策
 - Society5.0
 - ② ITトレンドとこれからのビジネス【ITトレンドより】
 - 団 ② 今後5年の重要技術トレンド【ITコードマップ2018(NRI著)より】
 - ・ 図 サービスの変革の時代の次世代図書館サービスは?
 - 団 ❷ 「未来の図書館を作るとは」【2012年長尾先生】を読み返して
 - ② AI等の新技術の活用の可能性は?
 - ・ 図 知的情報資源のビッグデータとしての活用の可能性は?
- - ② 「未来の図書館を作るとは」と「知の共有化」
 - ② アーカイブに関連した国の活動の方向性

 - ② 文化情報資源のナショナルアーカイブ
- □ DAX40-06 「知の共有化」システムの標準的な構築プロセスと必要なスキル・知識
 - ② DAX40-06-1 「知の共有化」システムの標準的な構築プロセス
 - ② DAX40-06-2 政府情報システムでの標準的な構築プロセス
 - ② DAX40-06-3 「知の共有化」システムの構築に必要なスキル・知識
 - ② AI時代のシステム開発手法
 - AI時代に必要なスキル・知識

- 日 **①** DAX40-10 【2019年】今後10年の図書館を取り巻く環境の社会環境の変化 Expand Collapse ムの方向性
 - ⊞ 詳細資料
 - 国等の政策
 - DX時代における図書館サービスイメージ
 - ⊞ 業務に必要な役割(タスク)
 - ⊞ 業務に必要なスキル・知識
 - ⊞ 職種ごとに必要なスキル・知識
 - ⊞ 開発手法及び構築に必要なスキル・知識
 - 技能の習得方法
 - 技能の認定方法
- - ⊞ ② はじめに
 - 🗉 🥝 【今後10年を見据えて】図書館を取り巻くサービスの変革への対応
 - 団 ② 図書館サービスシステムとして何を目指すか?
 - ② 5~10年後に適用するシステムのイメージ
 - Ⅲ ② 図書館サービスシステムでの人工知能の活用の可能性【作成中】
 - 田 ② 【x】現在の到達点は?
- ① DAX40-30 まとめ
- □ DAX40-40 【補足資料】「見たことのない図書館を考える(2015年中山)」の実現性は?
 - ⊞ ナショナルアーカイブで何をできるようにするか
 - ⊞ ナショナルアーカイブで何が変わるか
 - 図書館員等に求められるもの
- □ **①** DAX40-50 【参考】次世代サービス構築及び提供に当たって留意してほしいこと
 - 効率化、人はより創造的な業務へ
 - 保守的な組織にありがちな前例主義・横並び主義からの脱却
 - 与えられた権限には、実施の責任と義務を負っている
 - サービス提供者は利用者以上のITスキルを持つ
 - One of themの組織としての役割を考える。Give & Takeの協力関係を想定する【単館主義からの脱却】
 - 外部の動き(特に商用サービス)を知る組織外の情報を組織内へ
 - 今後10年を見据える